

授業形態に合わせたツールの 使用方法

情報理工学部 教授 満田 隆

本日、紹介するツール

- LINE OpenChat
- slido (オンライン投票、質問ができる会議支援ツール)
- TFabTile (学生のPC画面を一覧表示)
- oVice (バーチャルスペース)
- Slack (チームコミュニケーションツール)
- Scrapbox (複数人が同時に書き込めるドキュメント管理)

LINE OpenChat

こちらから
ご参加ください ⇒



LINEのグループとは異なり、
匿名で参加できる。

スマホで利用できる。-> 簡便。写真投稿も容易。

作成方法：LINEのホーム->サービス->ライフスタイル->右下のアイコン



LINE OpenChat の利用例

← 課題作品の共有

情報理工基礎演習
(1回生春小集団授業) ⇒

メッセージ例

- ・宿題の質問
- ・JR遅延で遅れます。
- ・オリターからの連絡



Slido (会議支援ツール)

メッセージ投稿



A screenshot of the Slido chat interface showing four anonymous messages. Each message includes a user icon, the name 'Anonymous', a thumbs-up icon with '0', a timestamp, and a three-dot menu icon on the right.

- Message 1: 28 Apr, 3:14pm. Text: 電極だけでは無理だと思います
- Message 2: 28 Apr, 3:15pm. Text: 逆にそれ以外で必要とみられる部分はないから
- Message 3: 28 Apr, 3:35pm. Text: ノイズが多いと思う
- Message 4: 28 Apr, 3:35pm. Text: 表面では限界がある

投票



<https://www.slido.com/> にて、

Joining as a participant?

Enter code here



〇〇〇〇を入力してください。

良い点：

匿名なので、意見が出やすい。

⇔ Zoomチャットだと名前がわかる。

教員宛てに送る学生も多い。

投票機能がある。

授業1コマ毎に開設できる。⇔ LINE OpenChat

不便な点：

Zoomによるハイブリッド授業では、Zoomと教室の両方に注意を向ける必要があるため、Slidoのメッセージに気が付きにくい。

TFabTile

- 参加者のPC画面（デスクトップorウィンドウ）を一覧表示
- ソフトのインストール不要
- <https://tile.tfabworks.com/general/>
->受講者用ページ -> 部屋名: **立命館座談会** 名前: なんでもOK
- プログラミング演習など 学生の進捗状況の把握に便利
- 無料プラン 20人/部屋 50分

oVICE (バーチャルスペース)

- <https://biorobot.ovice.in/>

生体ロボット研究室

自由に動きまわって、
黒円の範囲内の人と
会話できる。

画面共有も可。

グループディスカッション
に便利

研究室利用不可の際、学生
とコミュニケーションをと
るために導入したが,,,,



Scrapbox (複数人が同時に書き込めるドキュメント管理)



← M2中間発表会での使用例

(2022年度M2中間発表) 仮想空間における床の色が足裏の硬軟感に及ぼす影響

#M2中間発表

#2022年度M2中間発表

満田研・M2 (4月入学) ・

予稿

[2022年9月中間発表予稿_ .pdf](#)

付録資料

質問・コメント

-  これは俗に言うアフォーダンス？距離に応じたグラデーションなんかも影響があると思います。
 - ➡そうですね。HMDを用いた場合の景色についても検討します。ありがとうございます。
-  実験は素足？靴の影響は無いか？実際に踏んだの？
 - ➡被験者の靴でそのまま実験を行うと靴の厚みによる個人差が出てしまうので、こちらで統一した靴に履き替えてもらうか、裸足ないしは靴下という選択肢で検討中です。
-  HMD利用時の足の表示は？
 - ➡ご指摘を受けて、表示するようにしたいと思います。ありがとうございます。
-  居住空間の色彩設計なんかも勉強したら、色々な心理的作用が出てきそうですね。
 - ➡そうですね、硬軟感以外にも、滑らかさや粗さ、温冷感などの心理的作用が出てきそうです。

質疑応答時間は限られている
⇒参加者が自由に質問・コメントを書きこむ。

発表者は発表終了後に回答を書き込む。

オンライン・対面どちらでも
使用中

Slack (チームコミュニケーションツール)

LINEのような
メッセージ交換を
チーム毎で行える。

便利な点

- ・スマホでも簡単に使える。
- ・通知がある。
- ・テーマ毎に記録を保存できる。
- ・学生の指導記録になる。



現在の各ツール使い分け

研究室学生指導	Slack,(e-mail) manaba+R Zoom, oVice	日常の連絡・相談 課題,ゼミ資料 学生相互閲覧で学生間でコメント オンラインゼミ
授業 (manaba+R)		
完全オンライン		Zoom, LINE OpenChat, (TFabTile)
対面(ハイブリッド)		Zoom, Slido, LINE OpenChat
発表会		Zoom, Scapbox
教員間情報共有		Zoom, Slack, OneDrive, Teams

オンライン授業Tips

- ZoomでカメラをONさせる方法

- 早い時間にTAにZoomに入ってもらい、カメラをONしておいてもらう。当然、教員もONする。
- 1/3～1/2がカメラONすれば、皆、自然とカメラONする。
- 気さくに話しかけて誘導。
- 学籍番号ではなく、名前を表示させる。
- 強制はしない。

- 学生間のコミュニケーションを促す方法

- 出席確認時、一言、話してもらう。

例 最近嬉しかったこと、実は私は〇〇なんです、困っていること、など

- グループ課題

TAにグループ全員が課題を完了したことを確認させ、一番、遅かったグループは罰ゲーム（全員で歌う）

- グループワーク：授業終了後もそのままZoomを開けて、自由に使わせる。

ハイブリッド授業Tips

- 学生とのコミュニケーションツールは一つに絞る（ZoomまたはSlido）
- Zoomで出席する学生とコミュニケーションをとるために、クイズを多く用いる。
 - 選択問題は、教室では挙手、Zoomではオンライン投票
 - ⇒ 違いがわかって面白い
 - 選択以外の問題は、教室、オンライン、どちらもSlidoで回答させる。
 - ⇒ 学生の眠気防止
 - ⇒ 理解度の把握
 - ⇒ 学生どうしの刺激
- 実物のデモ、質問対応、により学生が教室に来る価値を高める